

第2回「地域クラブ活動の円滑な推進に関する市民会議」について

1 開催日時

令和8年7月17日（金）16:00～18:00

2 場 所

北九州市立子ども図書館 2階 大研修室

3 出席者

構成員12名（生徒代表はオンライン参加）、地域クラブ関係者1名

4 議 題

- （1）各取組の進捗状況の確認
 - ・全体の進捗について
 - ・学校ヒアリングについて
- （2）地域クラブ活動に関する現状確認（地域クラブヒアリング）
 - ・TOTOS北九州 代表理事より説明
- （3）主要取組み事項に関する意見交換
 - ・広報、理解促進について
 - ・指導者の確保について

5 主な意見

資料1のとおり

参考 市民会議について

【概要・目的】 地域クラブ活動の現状を的確に把握し、令和9年9月の本格実施に向けた準備を円滑に進めていくため、生徒や保護者、学校、スポーツ・文化芸術活動、地域コミュニティ、経済界といった様々な当事者が一堂に会し、課題の共有や意見交換を行うプラットフォームとして設置

【構成員等】 構成員14名、オブザーバー1名（資料2のとおり）

第2回地域クラブ活動の円滑な推進に関する市民会議 主な意見

- ①学校部活動、認定地域クラブ、民間クラブチームの相互関係やすみ分けなど、3者の違いが分かりにくい。
- ②現場の教職員の理解が十分に進んでいないため、地域や小学生、保護者への説明に戸惑いを生じさせていた面がある。全市の校長を対象に研修会を開催し、教職員への校内研修を進める。
- ③クラブに参加することで別の学校の友達ができ、学校の体育館に限らず、様々な場所で活動できることや、自分が成長していると感じられることがよい。学校では経験できない聴覚障害のある方々との交流など、将来に役立つ経験になると感じている。
- ④毎日練習しなければならないという考え方を変え、様々な種目に取り組むことや、友だちと遊ぶ時間も大切にしながら、楽しくスポーツができる環境づくりを進めてもらいたい。
- ⑤ポータルサイトでは、各クラブが何に重点を置き、どのような活動をしているのか掲載すると、利用者に分かりやすい。
- ⑥運営基盤が整った団体の活動は素晴らしいが、地域や家庭の事情で格差が生じ、「地域全体で支える」という趣旨から離れる可能性もある。経済的困窮世帯への支援について検討状況を教えて欲しい。全ての子どもや保護者にとって公平な制度であるべき。
- ⑦指導者について、種目や地域別の状況は分からないか。
人材バンクを設ける際にはしっかり把握して、クラブとマッチングする仕組みを整える必要がある。

地域クラブ活動の円滑な推進に関する市民会議 構成員一覧

（敬称略、順不同）

分野	氏名	所属
学識経験者	高田 俊也 【座長】	九州共立大学スポーツ学部教授
	大島 まな	アジア女性交流・研究フォーラム理事長
学校・部活動 関係者	菱谷 恒一	北九州市中学校長会長
	石川 隆之	北九州市中学校体育連盟会長
	三浦 豊	北九州市中学校文化連盟会長
生徒	（都度選任）	北九州市立中学校代表生徒
保護者	穴井 秀和	北九州市 PTA 協議会会長
地域クラブ	上村 英樹	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 理事
スポーツ団体	園田 美恵子	北九州市スポーツ協会事業係長
プロスポーツ	下田 功	ギラヴァンツ北九州普及事業本部 本部長
文化団体	佐々木 和古	北九州文化連盟理事
アーティスト	森山 陽介	北九州音楽協会常任理事 （プロチューバ奏者）
地域	神田 摩耶	白野江市民センター館長
経済	梅林 繁喜	北九州商工会議所総務企画部次長

（オブザーバー） 三浦 隆宏 北九州市総務市民局長

※このほか、地域クラブについてのヒアリングのため、担当者が出席する場合あり